

2019年10月 第63号

三重県労働組合総連合
〒514-0015 三重県津市寿町7-50
みえ平和と労働会館
TEL 059-223-2615 FAX 059-223-4495
http://mieroren.labor.net.jp/

みえ労連

zenroren



要請書を手渡す
臼井議長

10月24日(火)
三重県人事委員会への
要請・交渉

(医療現場)
組合員1人から
7人に、
そして19人に



(音楽療法士)
突然の職種変更
通知に
組合結成し裁判へ



(保育現場)
新しく組合結成で
パワーアップ
一緒に対市交渉



職場から地域から、確信に満ちた発言続く

29市町に地域ユニオンを、8地域に地域労連を！ そして1万人みえ労連を！



開会挨拶
みえ労連臼井議長



みえ労連第31回定期大会を開催

みえ労連は9月8日(日)津市橋南公民館で第31回定期大会を開催し、1年間の総括と次年度の活動方針を決定しました。大会には15の組織・地域から39名の代議員(定数42名)をはじめ70名余が参加しました。また全労連より黒澤幸一事務局次長、日本共産党から岡野県副委員長が出席し、連帯と激励の挨拶をしました。大会では17名の代議員が発言し、最後に2019年度方針案ほか提案された議案を満場一致で可決しました。また19名の新しい役員を選出しました。

単産と地域労連の連携で未来を開こう！ 県内すみずみに
組合員を増やし、安定した組合財政を確立しよう！

臼井議長の開会挨拶、お二人の来賓挨拶を受けて、高岡書記長から総括と方針、会計の提案がありました。

《方針の要旨》

・1万人みえ労連をめざします。
・パート労働法が改正されます。取り組みを通じて組織拡大を進めます。

【地域労連】

今年度も地域労連・ユニオンの結成を目指します。単産と地域労連が連携してこそ力が発揮できる。

【青年】

青年連絡会が復活しました。いかに継続させるかが課題です。そのためにも県内各地で単産・単組・地域組織で青年の抜擢をお願いしたい。

【学習】

要求実現のためにも学習会の実施が重要です。学習会は市民に開放を。

【最低賃金】

最賃1500円、全国一律最賃をめざします。

【憲法】

第12回憲法キャラバン、第15回自治体アンケートに取り組み、憲法を守りいかに共同を広げます。

【会計】

正規が減って組合費収入が減少。とはいえず、予算を急

総括と方針の
提案
高岡書記長



来賓挨拶
全労連・黒澤さん



ダブルワークのシングルマザーが「最賃がもう少し高ければ子どもを泣かせずに済んだ」と……。最低賃金の改善では自民議員も立憲議員も全労連集会に参加。非正規労働問題では同一労働同一賃金実現が重要。韓国のナショナルセンターが、政権との闘いの中で20万人の組合員を増やしたことに学ぶ。労働者を組織することが今こそ求められている。仲間を増やそう！

大企業の税率が中小企業より低いなんて

東海地連学習会で名城大准教授を講師に。安倍政権は法人税を下げ、企業は内部留保を増やしている。法人税は大企業6%、中小企業20%。自分も含めてそのことを知らない人は多い。知らないといけない。



水野さん(生協労連)
とを知らない人は多い。知らないといけない。

原発なくす三重の闘いに学ぼう

「熊野灘そして芦浜」という本を発行した。原発をなくす三重の闘いを紹介しています。



鬼頭さん(東紀州)
ぜい買って下さる方針だ。芦浜の膨大な土地を中電は今も手放さない。油断は出来ない。

異業種交流会で人とつながる

私立聖母の家学園で障害者の就労支援に関わっている。「親なきあと」が合い言葉。人とのつながりを求め、芦葉弁護士を招いて「異業種の交流会」をした。心を開くには「さしすせそ」が大切。



近藤さん(聖母の家学園)

「さ」「し」「す」「せ」が大切。心を開くには「さしすせそ」が大切。心を開くには「さしすせそ」が大切。心を開くには「さしすせそ」が大切。心を開くには「さしすせそ」が大切。

人員削減で労働強化



伊藤さん(鈴電労連)

代議員の
発言より

パートの給料改善を

たんぽぽでデイサービスの仕事をしています。職場でアンケートをとった。それをもとに賃金改善など要望。10月からの処遇改善制度を使って、パートさんの給料アップが出来ないか会社に申し入れる。



西崎さん(三重国公)



沢村さん(全厚生)

年金をよくする三重の会への参加を呼びかけます

日本の経済力は世界3位、財源は十分ある。最低保障年金制度を基礎に、その上に掛金に応じて上乗せする2階建て年金制度を提案している。年金問題は、年金者だけでは解決できない。



辻井さん(年金者組合)

年金をよくする三重の会を結成する。各単組で会への加入検討を。

組合員1人から19人に

井口さん(自治労連) 市立四日市病院には医師事務作業補職員60人が働いている

が、会計年度職員制度で処遇改善を組合として要求。医師たちも賛同署名やメッセージを寄せてくれた。この中でたった1人からはじまった組合が7名に、そして19人に増えた。職場を訪問すると笑顔で迎えてもらえる、

職種変更は許せない

井上さん(青山里会) 青山里会で音楽療法士IIアクティビティワーカーをしている。

「もう音楽の仕事はない」と突然の職種変更(いやなら退職)を求められたが、納得できず組合を作り法人側と交渉。はがきニュースを50余の全職場に送り、支援を訴えている。裁判所にも申し立てた。音楽療法には底知れないパワーがある。一日も早く、アクティビティワーカーとして働きたい。

新しい労組と一緒に対市交渉

市川さん(福保労) 保育無償化自体はいいことには違いないけど、様々な問題や格差の広がりが生じる。この問題で三保連で学習会を実施した。

毎年対市交渉をしている。これまで、ぐみの木分会だけだったが、今年は近隣に福保労の新しい組合が出来たので、いっしょに交渉できる。協力して要求を実現したい。11月の給食セミナー(伊勢市)も是非成功させたい。

問題多い保育無償化

保育園の労働組合「おおばこ」で園長と話し合いを持ち、労働条件改善で成果。保育無償化は給食費の徴収で事務負担が増える、0〜2歳は無料にならない、など問題が多い。川口弁護士を招いて学習会を予定。再開した青年連絡会は、面白い活動を工夫して、みんなで元気になる。



中山さん(北勢労連) 再開した青年連絡会は、面白い活動を工夫して、みんなで元気になる。

会計年度任用職員制度で待遇悪化を懸念

先日総会を終えた。民主教育の破壊がすすむ。英語教育・学力テスト・スタディーチェックなど、子どもも教員も苦しめられる。会計年度任用職員制度の導入で臨時教職員の待遇が悪くなるおそれがある。非常勤講師の時給2900円というのとは高くみえるが、授業時間以外に準備や後処理があるので、決して高くない。県教委交渉でしっかりと要求したい。

オスプレイ来るな!

オスプレイの飛来に抗議した。自衛隊はアメリカのいいなり。明野への常駐化などには絶対反対だ。

池田さん(南勢労連)

このままでは医療崩壊

医療全国研究会のご協力に感謝。ただでさえ医師・看護師不足なのに、この上、地域医療構想で3000床削減は許せない。医療崩壊が起きる。介護現場は給料が10万円低い。運動強化のために三重医労連にも専従を置くことを検討している。



藤井さん(医労連) 検討している。

年間255件の労働相談

労働相談は年間255件。短く速く相手が納得する回答が求められる。日東電工では正規との均等待遇を求めて昨年12月裁判に踏み切った。支援する会に加入を。長い闘いになるだろうが、必ず勝利したい。ジャパンレンタカーでは解雇を撤回させたが、職場復帰したら、新たな嫌がらせがはじまった。このままでは社会保険もなくなる。さっそく団体交渉を申し入れた。



伊藤さん(中勢地域労組)



議長団 大川さん・中山さん

派遣社員の給料がたった一万円

伊賀名張ユニオンは、個人加盟の組織。たくさん労働相談が寄せられている。派遣社員の給料が手取り1万円しかないという話も。根拠なき圧力を受けているとの訴えも。労働相談を通じて組合員が8名増えた。様々な課題ごとに市民学習会を重ねたり、餅つきや青年アンケートの高校門前宣伝に取り組んでいる。



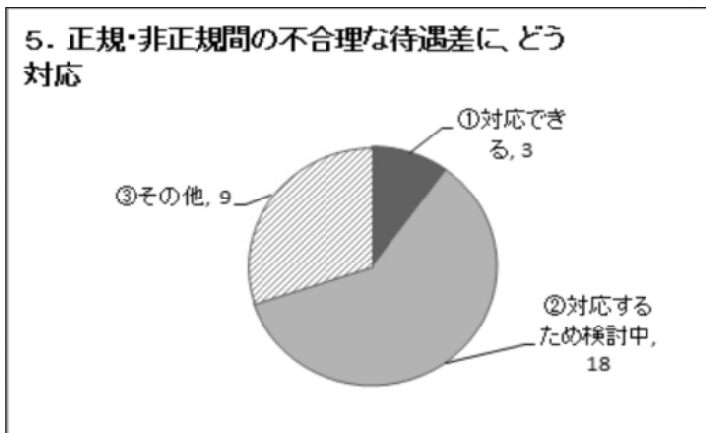
釜井さん(伊賀名張ユニオン)



首長アンケートをもとに29市町&三重県と懇談 町長・副知事など出席し、働き方改革などで意見交換

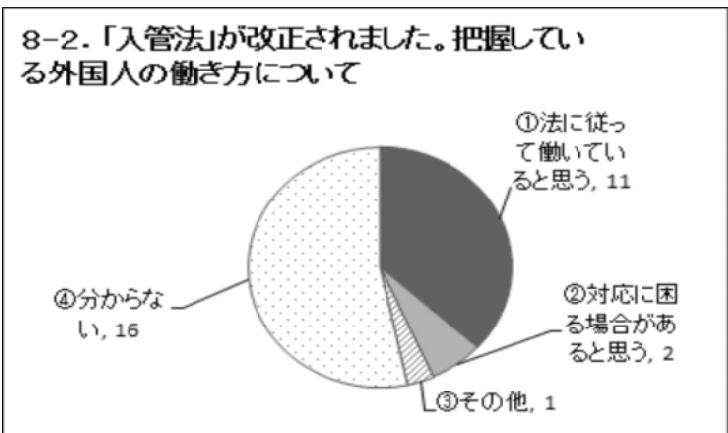
みえ労連の2019憲法キャラバンは、8月5日、8月25日、県内30自治体で行われました。事前に全首長にアンケートを依頼し、その集計結果をもとに率直な意見交換が行われました。

正規・非正規の処遇改善



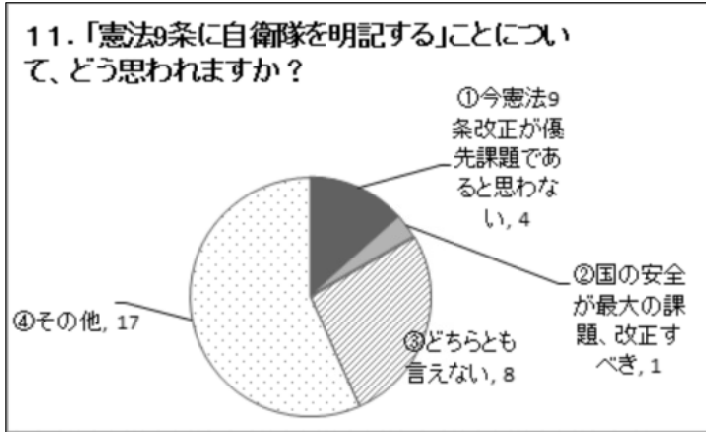
●「正規・非正規の不合理な待遇差」の解消にむけては、「会計年度任用職員制度」の整備にかかっているといえます。回答は、「対応できる」3自治体のみで、「検討中」18、「その他」8。
●みえ労連が6月に自治体議会に要請した国への財源保障要請は、御浜町、亀山市、多気町で決議されました。

入管法の改正



●4月1日施行の改正「出入国管理及び難民認定法」について、自治体の外国人労働者の把握状況を聞きました。「分からない」53%、「法に従って働いていると思う」37%となりました。人口数では9690人・四日市市、8640人・津市、8369人・鈴鹿市。
●日本は従来、単純労働者の受け入れを拒否しながら、技能実習生として裏口から受け入れてきました。特定技能制度も比較的単純な労働者を受け入れるもので、数の増大により、医療・社会保障・生活問題・教育など自治体の課題は増大します。

憲法9条



●「憲法9条への自衛隊明記」について、4人が明確に「優先課題でない」、1人が「改正すべき」と回答がありました。
●6市町の首長が「慎重審議」「9条の理念は堅持してほしい」「世界の恒久平和の実現の観点から国民全体で論議」等と記述しています。

今回のアンケートは、①自治体と関連職場の「働き方改革」、②正規・非正規の待遇差改善、③入管法、④新たな広域連携、⑤憲法9条への自衛隊明記、等です。アンケート結果の一部を紹介します。



8月25日 三重県副知事との懇談 三重県庁会議室